



## CONTENTS

2017年度 聖句

「あなたがたの光を人々の前で  
輝かしなさい。」

(マタイによる福音書第5章16節)



児童虐待防止推進月間の取り組み(オレンジリボン運動への協力) … 2

眞鍋記念奨学金及び学長賞受賞 … 3

卒業生の活躍 … 5

# 児童虐待防止推進月間の取り組み (オレンジリボン運動への協力)

地域連携推進センター長・図書館長 教授 櫻井 奈津子

子どもへの虐待は、子どもの生命を脅かし、その育ちに大きな影響を与えます。すべての子どもが安心して安全な環境で養育されることは子どもの権利であり、子どもの権利を護ることは、親だけでなく社会全体の責任とも言えます。

虐待のない社会、子育てに優しい社会の実現をめざして、そのシンボルマークとなっているのが「オレンジリボン」です。2004年に起きた幼いきょうだいが父親の知人によって暴行を受けて亡くなるという痛ましい事件をきっかけに、事件の舞台となってしまった栃木県小山市の市民団体が、虐待防止のための運動を始めたのが、オレンジリボン運動の起源です。子ども達の幸せを願い、明るい未来を表す色として、オレンジを選んだのは、さまざまな事情から実の親と暮らせず、里親の下で成長した子ども達でした。2006年から児童虐待防止ネットワークがオレンジリボン運動の総合窓口となって、全国的にこの運動が展開されるようになったのです。

本学では、こうしたオレンジリボン運動に賛同し、毎年11月の児童虐待防止月間に相模原市と協働で、虐待防止の呼びかけを行っています。夏休み明けの1年生と専攻科生は、街頭配布するオレンジリボンを作成します。各グループから代表委員(地域連携推進係)に集まってもらい、リボン作成の講習を行います。リボン作成に取り組み始めた頃は、リボンの頭の部分が大きく、まるでタコさんウィンナーのような仕上がりがだったり、逆に小顔でスマートすぎたり、と、同じような規格で約4,000個のリボンを作成することが困難でした。できるだけ大勢の学生に関わってもらいながら、ある程度統一された規格で仕上げるために、試行錯誤しながら取り組んでいます。

出来上がったリボンのうち、2,000個は街頭配布用として、虐待防止のメッセージを書き込んだ台紙と共にビニール袋に封入し、相模原市に納品します。残りの2,000個は在学生だけでなく、オープンキャンパスやいずみ祭に訪れる方達に配られています。

11月に行われる街頭配布は、相模原市、相模原市社会福祉協議会、児童委員、市内福祉施設の職員等、多くの関係者と本学の学生有志とで、2日間に渡って橋本駅前と相模大野駅前でされます。家路へと急ぐ市民に「子どもの虐待防止キャンペーンです、よろしく願います」と声をかけながら手渡しするのですが、慣れないうちはなかなか声を掛けられなかったり、スッと交わされてしまったりと、苦戦します。それでも30分もすると用意したリボンはすっかりなくなって、少しでも子どもたちの健やかな育ちに繋がりますようにと、かじかん手温め願いながら私たちが家路へと急ぎます。



オレンジリボン作成の様子

## ●「児童虐待防止推進月間」標語づくり



教授 鈴木 敏彦

児童福祉学科の授業「社会福祉」では、アクティブラーニング(教員による一方的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法)の一環として、履修学生全員が、「児童虐待防止推進月間」(厚生労働省主催)の標語づくりに取り組んでいます。標語づくりを通して、保育者を目指す学生一人のひとりが、児童虐待を自ら向き合うべき課題として捉え、社会への啓発のあり方を考える契機となることを目的としています。

2016年度は、現在2年在学の山口涼香さんの作品が、全国7,034作品の中から最優秀賞として選定され「子どもの虐待防止推進全国フォーラム in ふくい」において、厚生労働大臣表彰を受けました。山口さんの入賞は、保育者として子どもの権利擁護者となるべく学びに励む同級生にとっても、嬉しいニュースとなりました。

山口さんの作成した2016年度標語 「さしのべて あなたのその手 いちはやく」

## ●オレンジリボン・キャンペーン

11月9日(木)JR横浜線橋本駅北口広場、13日(月)小田急線相模大野駅北口広場にて、オレンジリボン・キャンペーンを実施しました。

本学学生と教職員が、相模原市民生児童委員、相模原市児童虐待・いじめ防止連絡会、相模原市こども・若者未来局 こども家庭課、市内児童福祉施設の方々と協力して、「児童虐待防止にご協力をお願いします!」と呼びかけながら、学生が手作りの2000枚のオレンジリボンを、駅を行き交う人々へ配布しました。今回の運動が少しでも児童虐待防止につながればと思います。



相模大野駅にて配布を行った学生と教職員

## 聖書のことば

チャプレン 西田恵一郎 准教授



「わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです」(コリントの信徒への手紙二 4章18節)

「サンタクローズについてるんでしょか (Is there a Santa Claus?)」を1897年、ニューヨークに住む8歳の少女バージニア・オハロンが「ニューヨーク・サン」新聞社に投書しました。返事を担当したのはフランシス・チャーチという記者。彼は「Yes, there is a Santa Clause!」(勿論、サンタクローズはいらんだ)と応え、大人が失ってしまった目に見えない

いものに対する感性や信仰について記しました。「子どもへの返事…」と気が進まないまま筆を執った時、彼は58歳。彼の返事が社説として掲載されたのは、それから9年後、病気のため67歳で亡くなった年でした。彼が自分の記事を目にするにはありませんでした。記事に彼の名前は記されていませんでした。しかし、その後クリスマスが近づくと、毎年、彼の返事が他の新聞にも掲載され、やがて筆者がフランシス・チャーチだと知られてゆきました。彼は不運な報われない人生を送ったのでしょうか…。見える形では結果を求めないと思える現代、「過ぎ去る」ものを次から次へと目先を変えて作り出している世界。でも、「永続する」のは「見えないもの」なのです。目を向けていないから、見えないのです。今年のクリスマス、二人の手紙を思いながら、「見えないものに目を注ぐ」ことができたなら…。よいクリスマスを!

## 眞鍋記念奨学金(前期)

1年 森井 美帆さん (都立富士森高等学校 出身)



今回、このような素晴らしい賞を受賞することができ、嬉しく思います。和泉の先生方は回数を重ねていく毎に、学生がもっと知りたい、もっと学びたいと思える充実した授業をして下さいます。そのため、授業で学ぶことが楽しく感じています。学ぶことを応援し、支えてくれる家族や先生方に深く感謝しています。その感謝を忘れずに、これからも日々の授業を大切に、学びを深め、努力していきたいと思えます。

1年 藤田 晨平さん (横浜市立東高等学校 出身)



入学してからの新たな環境での生活は、先生や友人達から、これまでとは違う知識や学びをたくさんいただく日々でした。その日々の成果をこのように表彰していただき、本当に感謝しています。生涯続くという保育の学びを始めたばかりの今、とても励まされる思いです。少しでもよい保育者となることができるよう、今後も向上心を持って学んでまいります。

2年 田辺 凜果さん (県立相模原青陵高等学校 出身)



この度は名誉ある賞を頂きましてありがとうございます。このような賞を2期連続頂くことができ本当に嬉しく思います。2年前期で学んだことを実習の場で生かすことができ、一生懸命勉強に励み良かったと心から実感しました。努力したことは必ずどこかで役立つと和泉での学びを通して分かったので、これからも自分を信じて何事も全力で頑張っていきたいと思えます。

2年 大久保美南さん (県立有馬高等学校 出身)



この度は眞鍋記念奨学生として表彰して頂きまして、誠にありがとうございます。専攻科では実践的な学びが多く、私にとって良い刺激となっています。私がこうして勉学に励むことができるのも、熱心に指導してくださる教職員の方々の、ともに学んできた友人、そして家族の支えがあるからです。皆様への感謝の気持ちを忘れず、今回の受賞を励みに、残りの学生生活もより一層努力していきたいと思えます。

専攻科介護福祉専攻 鈴木麻友子さん (県立湘南台高等学校 出身)



この度は名誉ある賞を頂きましてありがとうございます。専攻科では実践的な学びが多く、私にとって良い刺激となっています。私がこうして勉学に励むことができるのも、熱心に指導してくださる教職員の方々の、ともに学んできた友人、そして家族の支えがあるからです。皆様への感謝の気持ちを忘れず、今回の受賞を励みに、残りの学生生活もより一層努力していきたいと思えます。

## 学長賞表彰者(前期)

2年 梅澤 知代さん (県立弥栄高等学校 出身)



この度は学長賞という名誉ある賞を頂き、ありがとうございます。このような賞を頂けたのは、応援してくれた友人、家族、そして大会の機会を下さる会場まで足を運び声援を送ってくださった先生方や職員の方のおかげだと感じています。沢山の応援があったからこそ、勇気をもって試合に臨むことができました。残り少ない学生生活となってしまいましたが、今回の大会に出場し経験したことを心に留め支えてくださる方々への感謝を忘れずに、努力していきたいと思えます。

TOPICS

体育大会 結果

第52回全国私立短期大学体育大会が、2017年8月7日(月)～10日(木)に開催されました。

●女子バドミントン個人戦ダブルス(於：大井町総合体育館)

試合結果
◇女子個人戦
ダブルス 1回戦
vs 佐野日本大学短期大学 敗退



●女子ソフトテニス団体戦、個人戦(於：私学事業団総合運動場)

試合結果
◇女子団体戦
リーグ戦 vs 大阪芸術大学短期大学部 敗退
◇女子個人戦(山下・高橋組)
vs 北海道武蔵女子短期大学 敗退
予選リーグ
1回戦 大阪芸術大学短期大学部 敗退
2回戦 武蔵丘短期大学 敗退
3回戦 豊橋創造大学短期大学部 敗退
◇女子個人戦(宮崎、細田組)
予選リーグ
1回戦 岡崎女子短期大学 不戦勝
2回戦 滋賀短期大学 敗退
3回戦 名古屋短期大学 勝利
決勝トーナメント



1回戦 豊橋創造大学短期大学部 敗退

●女子バレーボール(於：墨田区総合体育館)

試合結果
◇Aブロックグループ予選
vs 常磐会短期大学部 敗退
vs 名古屋短期大学 敗退



●女子バスケットボール(於：入間市市民体育館)

試合結果
◎予選リーグ
vs 拓殖大学北海道短期大学 敗退
vs 武蔵丘短期大学 敗退



●男子バスケットボール(於：狭山市民総合体育館)

試合結果
◎予選リーグ
vs 千葉敬愛短期大学 敗退
vs 湘北短期大学 敗退



高校長との教育研究会

2017年9月13日(水) 第9回教育研究会を開催し、相模原市内14校の高等学校から校長先生、副校長先生方にご参加をいただきました。横川准教授より「同じ地域にある高等学校と短期大学のさらなる連携強化を考える」の話題提供がされ、その後2グループに分かれて意見交換が行われました。各高等学校の先生方からいただきましたご意見などを参考として、地域に根ざした短期大学として教育改革に取り組み、今後とも市内高等学校との連携強化に力を注いでいく所存です。



サンクスギビングフェア

10月20日(金)「サンクスギビングフェア」を開催しました。今回のフェアの目玉は、自分で顔を描く「ハロウィンおばけハンバーグ」。誰のお化けが可愛いかを楽しんでいました。学生たちからは、「ケチャップでおばけハンバーグの顔を描くのが楽しかった!」「急に涼しくなったので朝から無料のホットイチゴオレでホッコリしました。」など大好評でした。

【フェアの内容】

- ・学生食堂：100円ランチ(ハロウィンおばけハンバーグ 又は カレーライス)(200食限定)
～食事をした人はくじを引いてお楽しみプレゼント♪～
・コンビニ：全品20%OFF!～“ガチャポンくじ”付き～
・自動販売機：無料ドリンク200杯限定(ホットココア、ホットカフェオレ、カルピスソーダetc)



いずみ祭中止のお知らせ

10月28日(土)、29日(日)に開催予定でしたが、台風22号の接近により、来場者の皆さんおよび学生の安心安全を第一に考え、中止となりました。年に一度のいずみ祭を心待ちにしておられた皆様には、大変申し訳ございません。和泉短期大学は、いつでも皆様に立ち寄って頂ける場所です。お時間の都合がつかうときにぜひお立ち寄りください。

卒業生の活躍(第18回)

社会福祉法人 小桜会 中川小桜愛児園 副園長 (2003年卒・第一期男性学生)

菅原 潤平さん

私は和泉で学び、資格を得て職に就いた保育士という仕事に誇りをもっています。

8年前、私は現在の保育園にオーピングスタッフのような形で入職しました。その際、男性として働く上で少しでも給与が上がるように、何十年後には役職につくことができると思っていました。

のため、担任業務はもちろんの事、雑務、新米ながら園長の事務仕事の手伝い、園だよりの作成など、どんな仕事も率先して行ってきました。タイミングも重なり、2年前より副園長をさせていただいております。現在は来年度新園立ち上げなども伴い、法人としての事務も請け負わせていただけるようになり、周りの人



の力を借りながら、違った形からも子どもたちの成長を支えています。今は役職など関係なく職場の仲間で見えを出し合っており、子どもにとってはもちろんのこと、保護者、地域、また職員にとっても心地のいい環境をつくれるようにと試行錯誤しています。

和泉に入学したのは17年ほど前、第一期男性学生として入学しました。保育士というまだまだ男性はあまりなじみがなく、親からもどちらかというと反対されていました。就職して直面したのはやはり給与面の低さでした(今は保育業界の重要性がピックアップされ、私が就職していた頃より待遇はだいぶ良くなっています)。しかし、それでもここまで続いてきたのは、きつこの職業でしか得られないやりがいや充実感が大きいのではないかと思います。

今でこそ子どもへの関わり方が変わってきましたが、保育士は社会にとっても重要な役割であり、やりがいのある仕事であると思っています。私はこの保育士という仕事に就けて本当に良かったと思っています。

社会体験研修メッセージ

県立相模田名高等学校 後藤南津恵 総括教諭

2日間の研修では、図書関連業務や広報関連業務の体験をさせていただきました。まず、図書館に大型絵本や紙芝居等の資料が豊富なことには驚きました。家庭科教員の私にとって、一般の書店にない貴重な資料はとても参考になりました。保育士等をめざす学生にとって、実際に資料に触れることが実践的な学びになるのと感じました。図書関連業務では、資料の配架等の作業を通して、きめ細やかな支援の必要性について学ぶことができました。実際に本を選定して2冊発注させていただきました。自分が選んだ本が学生たちの手に渡ることを想像すると今から楽しみです。

広報関連業務では、ワークスタディの学生との作業で、学校生活の様子や保育園実習の感想等聞くことができ、今後の進路指導に役立つ有意義な時間となりました。また、挨拶をしてくれる学生たちが印象的でした。日頃から職員の方々が学生たちへの声かけと丁寧な対応をされることで、明るい笑顔とエネルギーにつながるのだと感じました。

2日間の社会体験を通して、学生の視点に立ち、努力を惜しまず取り組むことが大切なことを改めて学ばせていただきました。今回の社会体験で学んだことを、今後の教育活動にかしりて参りたいと思います。

人事

和泉短期大学時期学長選任

学校法人和泉短期大学は、10月27日(金)開催の2017年度第2回理事会において、2018年3月31日(土)をもって任期満了となる佐藤守男学長を、「学校法人和泉短期大学寄附行為第24条」、「和泉短期大学学長選考規則」及び「和泉短期大学学則」等に基づき、次期の和泉短期大学学長に選任いたしました。

学長 佐藤守男(重任)
任期 2018年4月1日、

2022年3月31日 (任期4年)

表彰

一般社団法人キリスト教保育連盟 永年勤続者表彰

- 久保 小枝子 専任講師
■平塚 豊 庶務ユニットリーダー
兼経理・施設ユニットリーダー
■曾根 真理子 学生支援ユニットリーダー

公益財団法人日本キリスト教文化協会 第48回キリスト教功労者顕彰

- 深町 正信 理事長

## 2017年度「教育環境充実資金募金」のお願い

学校法人和泉短期大学は1956年に東京都世田谷区中町でバット博士記念養成所を開設し、同年5月現任訓練講習会が開催されたことに始まります。2017年5月で創立61年を迎えました。教育の充実を図り、学修環境整備、施設維持整備を目的に、2017年度も「教育環境充実資金募金」を行うことになりました。皆様には出費多難の折と存じますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### ●募金対象事業

1. 震災・災害対策(建物非構造物(天井)改修工事)
2. 災害対策用井戸設置(いこいの広場に設置)
3. その他教室環境改善費他

### ●募金目標金額

10,000,000円

### ●募金募集期間

2017年7月 ~ 2018年3月

### ●募金金額

1. 個人 1口 5,000円 2. 法人 1口 10,000円

### ●所得税・住民税の寄付控除

本法人への募金(寄付金)については、年間2,000円を超える金額に対して、確定申告をすることにより所得税及び住民税の寄付控除を受けることができます。

### ●法人募金の場合

法人からの募金(寄付金)につきましては、日本私立学校振興・共済事業団を通じて「受配者指定寄付金」として全額損金に算入することができます。詳しくは、下記あてにご連絡ください。

### ●募金問い合わせ先

学校法人和泉短期大学

経理・施設ユニット 042-754-1133

IZUMI  
JUNIOR COLLEGE

学校法人  
和泉短期大学

寄付者一覧(敬称略) < 2017年4月1日 ~ 10月31日 >

**【特別寄付金】** 小椋 郊一 齊藤 博樹 鈴木 正栄 中畑 宏幸 平沼 晶子 山本美貴子  
新井津多恵 片山 知子 佐藤 純子 須山 加奈 中道由紀子 平野 麗慧 吉崎 昭利  
池田 涼子 金武美枝子 佐藤 孝治 曾根真理子 長山 篤子 深町 和哉 吉田美千代  
石井 俊子 神田 幸枝 佐藤 建夫 高橋 直子 中山多恵子 深町 正信  
石川 靖子 岸川 洋治 佐藤 町子 高橋 昌紀 西田 伸江 福嶋美佐子  
和泉短期大学父母会 北崎 熙 佐藤 繭美 武石 宣子 西山 栄治 松尾 真弓  
伊藤 馨 久保 芳子 佐藤 守男 匿 名 新田 恭平 松岡 俊彦  
伊藤 忠彦 小池 教興 柴田 安夫 匿 名 畑野 正幸 眞鍋 恵三  
今泉 治子 小柳 郁子 志村 すい子 戸田 美穂 浜出 美緒 村上 優子  
岡田 澄子 雑賀えり子 下西 潤子 富田 幸子 原田 康子 森 三樹  
荻原 英子 西郷 純子 庄島美智子 長尾 大 平塚 豊 森久保和子

### 【受配者指定寄付金】

株式会社日立オートサービス  
株式会社有隣堂  
第一工業株式会社 横浜支店  
東上ガス株式会社 神奈川支店  
谷津建設株式会社  
有限会社青史堂印刷

以上6件 730,000円

### 【現物寄付】

伊藤忠彦(コールデコット賞絵本127冊)  
和泉短期大学父母会  
(学生用ロッカー90台=540人分)  
以上2件 2,369,574円

## 夏期休業中の工事完了のご報告

夏期休業中に執り行われました工事について、ご報告いたします。

### ○災害対策用井戸設置工事(文部科学省：私立学校施設整備費補助金対象)

1号館「憩いの広場」に2017年度の理事長の基本構想である安心安全対策として災害対策用の井戸設置工事を行いました。災害が発生した時に備えて水の供給を第一とすることから、学生・教職員そして隣接の地域住民に供給するものです。この井戸に常設のポンプと発電機により水を汲み上げ造水機により生活用水(トイレ用他水)と飲料水に分けて1時間で合計約1,000リットル生成します。

今後は学生・教職員の避難・防災訓練や日常の行事で使用していきます。

### ○学生食堂天井耐震補強工事(3号館1階) (文部科学省：私立学校施設整備費補助金対象)

### ○学生用ロッカー設置(和泉短期大学父母会より現物支寄付)

和泉短期大学父母会様からの温かい現物寄付の申し出により、経年により古くなった学生用個人ロッカーを、新しいロッカーに取替え致しました。従前のロッカーより明るい色で、学生達からは「雰囲気が明るくなった」「きれいになったので大切にしたい」と大好評です。父母会様、保証人の皆様にご心より感謝申し上げます。



## クリスマスコンサート(子育てひろば「はっぴい」)

12月16日(土)、和泉クラーク・ホールにて、子育てひろば「はっぴい」のクリスマスコンサートを開催します。開催時間は、午前10時45分から正午まで。ハンドベルやパイプオルガンの演奏、聖歌隊によるクリスマス・ソングのほか、学生の出し物など、ご家族がそろって楽しめる内容です。(参加は無料です。「はっぴい」ご利用の家族は、要保険料100円。駐車場有)



開催日：12月16日(土) 10:45~12:00 受付：9:30 はっぴい受付 10:30 コンサート受付